

## 平成19年度 住吉こども文化センターの管理運営に対する評価について

### 1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	住吉こども文化センターの管理運営に関すること 住吉小学校・東住吉小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

### 2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	こども文化センターにおいては運営協議会やこども会議に加え、行事終了後にアンケートを取る等、ニーズの把握に努めました。わくわくプラザにおいてはこども会議、保護者懇談会を中心に運営や行事内容について把握しました。また本年はこども文化センター、わくわくプラザに意見箱を設置しました。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。
サービスの提供に関すること	年齢層に捉われず、誰もが気軽に楽しく来館・参加できるように心掛けて運営しました。今年度より親子・幼児向けのお便り（あっぷる新聞）を発刊した。アンケートの要望に応え新しい遊具の購入や参加費を取らない行事を毎月、実施することができた。	運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。 乳幼児を対象とした広報や行事の実施に努めている。

事業の実施に関するこ と	誰でも気軽に参加できる行事を第一目的として、より多くの子どもたちが集える場を提供してきた。チビッコフェスタやこども運営協議会主催ゲーム大会や、なんでも工作など幼児から小学生までの行事が行うことができた。地域やボランティアの協力によりこども文化センター祭りを盛大に実施することができた。	運営協議会等との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。今後も、ボランティアの活用に努めること。
個人情報の取扱に関するこ と	財団法人かわさき市民活動センターの個人情報保護方針に基づき取り扱いました。職員会議等で職員意識を高めて行った。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関するこ と	日々の清掃と整理整頓に努め、明るい清潔な施設になるよう努めた。子どもたちの安全確保のため定期的に防災訓練を行った。館内外の危険箇所の点検修理を行った。幼児ルームの遊具の消毒・破損点検を定期的に行つた。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。また、東住吉小学校・住吉小学校わくわくプラザにセンサーライトを設置し、より安全性を高めていたことは評価できる。
(2) 利用状況		
①こども文化センター	延べ利用者数 24,076人 延べ団体利用数 5,017団体 (主な行事等) パソコン 住吉こども文化センターまつり  (特色のある行事) フラダンス (こども文化センター・わくわくプラザ合同行事)	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	1 住吉小学校わくわくプラザ 登録者数 169人 延べ利用者数 13,598人 (主な行事等) オリジナルおやつ お正月遊び  (特色のある行事) パントマイム  2 東住吉小学校わくわくプラザ 登録者数 198人 延べ利用者数 14,979人 (主な行事等) 伝承遊び 新入生歓迎会  (特色のある行事) フロンターレサッカー教室	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況		評価及び指導																			
(3) 収支状況																						
① 収支状況	<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tbody> <tr> <td>収入 指定管理料</td> <td>46,115,491</td> </tr> <tr> <td>支出 人件費</td> <td>38,208,188</td> </tr> <tr> <td>  管理費</td> <td>2,560,845</td> </tr> <tr> <td>  事務経費</td> <td>1,937,847</td> </tr> <tr> <td>  その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>45,728,867</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>386,624</td> </tr> </tbody> </table>	収入 指定管理料	46,115,491	支出 人件費	38,208,188	管理費	2,560,845	事務経費	1,937,847	その他経費	1,436,042	青少年事業資産取得支出	909,090	減価償却引当資産取得支出	40,492	第1回精算に伴う返納金	636,363	合計	45,728,867	差引	386,624	<p>事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。</p>
収入 指定管理料	46,115,491																					
支出 人件費	38,208,188																					
管理費	2,560,845																					
事務経費	1,937,847																					
その他経費	1,436,042																					
青少年事業資産取得支出	909,090																					
減価償却引当資産取得支出	40,492																					
第1回精算に伴う返納金	636,363																					
合計	45,728,867																					
差引	386,624																					

### 3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

### 4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。